

親子の「絆」育む保育行政へ

横浜市会議員やまうら英太

このたび横浜市会議員となりまして、やまうら英太です。

今、首都圏で「待機児童」

私は、サラリーマン生活

問題のない自治体は皆無で

を経て横浜市認定保育園の

は無いでしょうか。予算を

園長となり、横浜市の保育

いくらかき集めて保育園を

の第一線で、お子さんを預

つくつても、後から後から

ける親や現場の保育士の声

入園希望者がやつてきま

に耳を傾けてきました。そ

す。待機児童問題の根本的

の経験から、保育行政につ

解決は難しく、困り果てて

いる自治体も少なくありま
せん。

利便性だけではない

施策を

横浜市は、公的な保育を

でしよう。

必要とする親は今後も増え、

親の利便性を優先し、企

2019年度には7万人に

業も保育参入が一気に進ん

上ると見込んで、さらなる

でいます。短期的な問題解

対策をとろうとしています。

決ばかりの箱ものづくりで、

また、政府も保育園受け皿

サービス保育が低下して、

を40万人分も増やす予定で

この先に何が起るでしょ

す。確かに、経済的な理由

うか。

や家庭の事情で共働きの世

せめて、0歳から2歳の

帯には保育園は必要です。

乳幼児が少しでも親元で長

しかし、親の利便性ばかり

く過ごせ、親も余裕を持っ

りを優先するあまり、女性

て子どもと向き合える新し

の社会進出を促すため、女

い施策をつくっていくべき

性の活躍の場をつくるため

だと思っています。



やまうら 英太

(略歴)

- ◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大
学卒業、グローバルビジネス経営大学院修了、園トトリ
- ◆横浜市認定保育園園長 ◆衆議院議員秘書
- ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net>